

令和8年度用

改訂新版

社会の新研究

三重県 高校入試情報

令和7年度三重県入試の全体傾向

●大問構成、問題数について

○大問数：地2・歴2・公1の計5問（昨年と同じ）

○小問数：39問(昨年は37問)

○文章記述問題は7問(昨年より1問増加)

●出題傾向について

○資料問題も含め基本的知識を問う問題が多い。基本をしっかり押さえる。

○全分野で資料を読み取って記述する問題が出題されている。

○歴史分野では並べ替え問題が出題されている。

★三重県の入試は、『社会の新研究』でバッチリ！

■活用問題の出題

・例年、資料から読み取れること・考えられることを記述させる問題が出題されているため、資料の読み取り対策と記述対策の両方が必要。

→

新研究で対策！

●「思考力・判断力・表現力を問う活用問題」（p. 194～197）では、複数の資料を読み取る問題や、自分の意見を記述する問題など、最新入試問題からピックアップした、今後も出題されそうな新しいパターンの問題を掲載しています。入試対策の仕上げとして取り組むことができます。

■歴史の時代関係の問題の出題

・例年、歴史でおもなできごとの並べかえ問題が出題されているため、テーマごとに歴史の流れをおさえる対策が有効。

→

新研究で対策！

●「特集 流れでみる歴史」（p. 114～119）で、同時代のできごとを整理。「ふりかえりチェック 歴史年表編」（p. 120～121）で、すべての時代の流れをつかむことができます。

●「並べかえ問題に強くなるう！」（p. 190～191）では最新の入試問題で並べかえ問題がしっかり練習できます。

★新研究で出題した三重県の入試問題(令和7年度)

◆p.23 大問2 ◆p.31 ◆p.55 ◆p.59 ◆p.63 ◆p.85 大問3 ◆p.89 大問1

◆p.109 大問2 ◆p.145 大問2 ◆p.195 大問2

三重県の入試傾向に完全対応！
新しい『社会の新研究』をお薦めします！



★三重県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

単元名／項目		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	地理的分野	世界の姿	●		●
		日本の姿	●		
		世界各地の人々の生活と環境	●	●	
		アジア州		●	●
		ヨーロッパ州, アフリカ州	●	●	●
		北アメリカ州, 南アメリカ州, オセアニア州	●	●	●
		地域調査の手法		●	
		日本の自然, 人口		●	●
		日本の資源・産業, 世界との結びつき	●	●	●
		九州地方, 中国・四国地方	●	●	●
	歴史的分野	近畿地方, 中部地方		●	●
		関東地方, 東北地方, 北海道地方	●	●	●
		文明のおこりと日本	●	●	●
		古代国家の歩み	●	●	●
		中世社会の展開	●	●	●
出題形式別の傾向	公民的分野	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	●	●	●
		近世社会の発展	●	●	●
		近代ヨーロッパと日本の開国	●	●	●
		近代日本の歩み	●	●	●
		二度の世界大戦と日本	●	●	●
		現代の日本と世界	●	●	●
		現代社会と私たちの生活	●	●	
		個人の尊重と日本国憲法	●	●	●
		現代の民主政治, 国会	●	●	●
		内閣・裁判所, 三権分立		●	●
	分野統合	地方自治	●	●	●
		消費生活と流通・生産, 市場経済と金融	●	●	●
		財政, 国民生活と福祉	●	●	●
		地球社会と私たち	●	●	●
		分野統合			
出題形式別の傾向	大問数	5	5	5	5
	小問数	38	37	37	39
	記号解答	27	24	26	29
	用語記述	2	6	5	3
	文章記述	9	7	6	7
	作業・作図				